

町長施政方針	②~③
平成25年度 一般会計、特別会計予算	④~⑤
総括質疑	⑥
各会計の討論	⑦~⑧
一般質問	⑨~⑭
住民・議会との懇談会のお知らせ	⑭
新十日町病院の概要	⑮
委員会レポート	⑯~⑰
シリーズ 私もひと言・編集後記	⑱

# つなまち

No.189  
TSUNAN-TOWN  
2013年4月22日発行



[写真]  
・上段 右/芦ヶ崎小学校入学式  
・上段 左/外丸小学校入学式  
・下段/津南小学校入学式



入学式  
にゆうがく祝おめでとう



# 平成25年度 町長施政方針



私は町長就任以来、「強くてどこよりもやさしい町、津南」をめざして、基幹産業であります農業をはじめとする各種施策を展開してまいりました。

新年度においても津南認証米のブランド化の更なる推進、見玉集落のご協力をいただき実現の運びとなります。「津南の水」販売を足がかりとして、野菜をはじめとする津南産農産物の差別化販売を進めてまいりたいと思っております。

また、子どもたちに大変好評であります郷土体験学習の一つとして、また、観光の核として「苗場山麓ジオパーク構想」の実現に取り組んでまいります。

就任以来、3度目の予算編成となりましたが、滑走路の整備がようやく終わり、新年度は滑走路から離陸して上昇していく年になるという期待を込めた予算案であると思っております。

平成25年度予算の概要を申し上げます。

地方交付税につきましては、平成24年度とほぼ同水準になりました。引き続き所要額の確保に向けて地方6団体と連携しながら全力で取り組んでまいります。

## 苗場山麓ジオパーク実現に向けて

実施隊」を組織し、人身や農産物被害防止に役立てたいと考えております。

町営住宅関係では、美雪町一般住宅の建て替え2棟8戸を計画したところであります。

教育委員会関係については申し上げます。学校教育関係では、今年度、津南中学校体育館の耐震補強工事を実施いたします。

小学校の統合につきましては、外丸地区、中津地区からは統合凍結の請願書や存続を願う要望書が提出されました。一方で保護者からは早期の統合を求める要望書も出されており、よりよい教育環境の整備のために、学区の大方の皆さんの合意ができた段階で、「津南町小中学校の設置に関する条例」の改正を議会に上程したいと考えております。

社会体育関係では、中津川運動公園造成工事がようやく完成いたしました。また、スポーツに関する仲間を立ち上げたTapという組織が3月下旬にNPO法人の認可を得る予定となっております。これらを活用し今年度から3年間の予定で社会体育関係事業及び社会体育施設の維持管理事業を順次委託し効率的

増の65億7,300万円となりました。

特別会計につきましては、対前年比0.82%減の56億4,944万8千円となりました。

一般会計、特別会計を合わせた予算総額は、対前年比1.22%増の122億2,244万8千円となったものであります。

町税につきましては、法人町民税において、対前年比94.6%を見込んだところであります。個人町民税については、対前年比4.3%の増収を見込んでおります。

地方交付税につきましては、前年並みの28億7,000万円を計上いたしましたところであります。

基金繰入金につきましては、総額3億5,510万5千円の繰入れをすることとしております。

町債につきましては、臨時財政対策債の2億6,500万円を含め対前年比19.56%減の6億9,220万円を予定いたしましたところであります。

次に施策の概要について申し上げます。地域公共交通の更なる展開を構築し、交通弱者対策を進めてまいります。都市住民受け入れ、地域おこし活動支援、農林業や住民の生活支援などに従事していただき、定住・定着を図る地域おこし協力隊設置事業に取り組みます。

消防・防災対策においては、孤立集落対策として秋山郷5集落に衛星携帯電話を配備いたします。ドクターヘリのランデブーポイント基地をなじもん駐車場に設置し、冬期間の機能確保のため消雪施設を整備したいと考えています。

な運営及び若者の働く場の確保とニュービジネスの創出を併せて図りたいと考えております。

病院事業につきましては、一般会計から昨年度同様1億5,000万円の財政支援をお願いいたしております。

医師及び看護師等の医療スタッフの確保が急務となっておりますが、今後も全力を上げて医療スタッフの確保と診療科の充実を図ってまいりたいと考えております。

以上、平成25年度を迎えるにあたり、町民が夢と誇りを持って、安心して暮らしている町を目指して、町民の皆様のお力添えをいただきながら町政の運営に職員共々全力で打ち込む覚悟でございます。議員をはじめ町民皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、所信の表明といたします。



期待される移動販売車

子育て支援・少子化対策につきましては、新規の取り組みとして、町単独事業で妊産婦の医療費に対し助成を行い、出産費用負担の軽減を図ってまいります。

保育園につきましては、子育て環境のソフト面・ハード面における総合的整備に向けて推進していきたくと考えております。

障害者対策につきましては、今年度障害者の範囲に難病等を加えることや地域生活支援事業の追加等の施策が講じられる予定であります。

国民健康保険につきましては、一般被保険者の減少に伴い医療給付費は対前年比98.7%と見込んだところであります。

介護保険関係につきましては、包括支援センターを中心として介護予防事業を推進するとともに、住み慣れた地域や在宅で過ごせるためのサービスを入れてまいります。

農林関係を申し上げます。本年度の米の生産調整は、津南町への米生産数量の配分が5,930トンとなり、作付面積に換算いたしますと1,099.7haであり、ほぼ24年度と同等の生産数量となっており、生産数量配分と併せ転作目標面積を配分することとさせていただきます。

日本一のブランド米維持のために、津南町認証米の作付け拡大が急務の課題と考えております。

昨年から進めておりました、ファミリーマートとの津南町の産物取引を中心とした連携につきましては「地域活性化包括連携協定書」を締結し、所得の向上を意図すべく準備をしているところであります。

鳥獣害の被害防止につきましては、津南町の非常勤特別職として「津南町鳥獣被害対策

# 特別会計

# 平成25年度予算

# 一般会計

**56億4,945万円** (前年比 99%)

特別会計	予算額	前年
国民健康	12億 1,771万円	12億 1,633万円
後期高齢	1億 1,519万円	1億 1,579万円
介護保険	15億 3,184万円	14億 8,255万円
簡易水道	1億 1,419万円	2億 8,626万円
下水道事業	3億 6,766万円	3億 5,654万円
農集排水	3億 8,679万円	2億 9,032万円
病院事業	19億 1,607万円	19億 4,848万円
合計	56億 4,945万円	56億 9,627万円



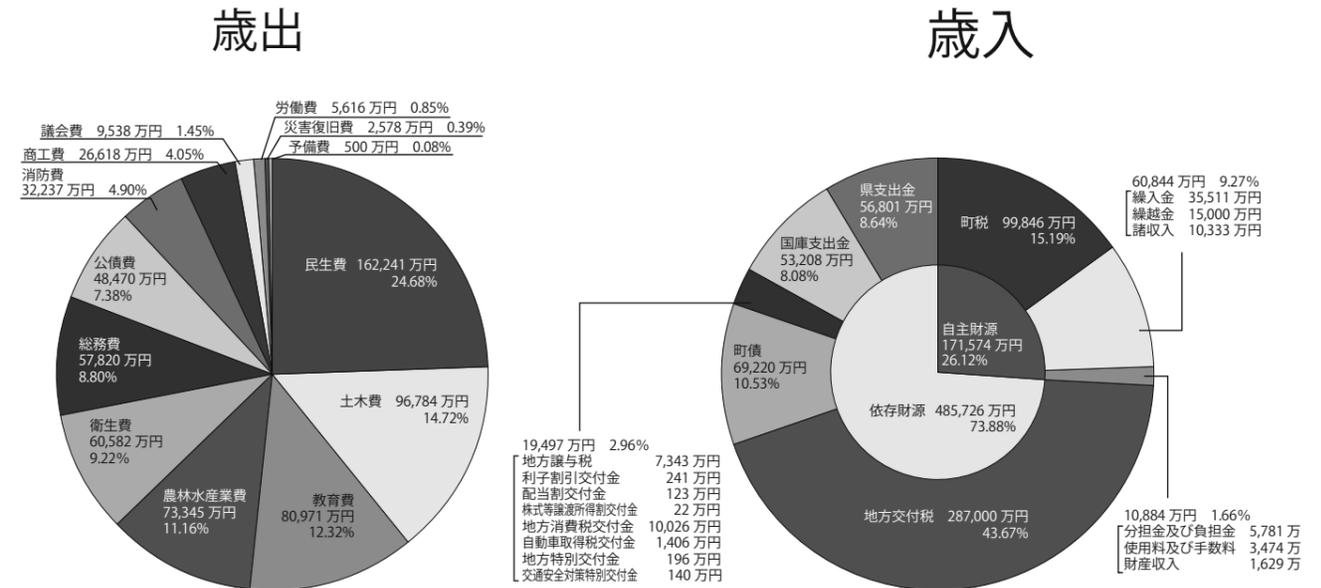
旧北陸農政局の事務所



美雪町町営住宅（2棟8戸）

平成25年2月26日から3月15日までの会期で開催されました。町長の施政方針、平成24年度補正予算、平成25年度一般会計・特別会計の当初予算を審議し原案どおり可決成立しました。

**65億7,300万円** (前年比 3.04%増)



## 平成24年度 3月定例会・臨時会 一般会計 主な補正予算内容

補正予算を審議し原案どおり可決成立しました。

補正額		3億9,371万円
総額		70億7,205万円
総務費	電波遮へい対策事業費減 (平成25年度へ一部計上)	△ 4,444万円
民生費	要援護者世帯除雪事業委託料増	344万円
衛生費	後期高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料減	△ 224万円
農林水産費	ため池改修・圃場整備工事費	9,212万円
	新規就農者支援対策事業補助金増	225万円
災害復旧費	災害復旧工事費減	△ 3,698万円
病院費	病院補助金増 (3/27 臨時議会で可決)	1億4,439万円
中学校費	津南中学校校舎整備工事費 (3/27 臨時議会で可決)	1億8,574万円

## 平成24年度 3月定例会 特別会計補正予算

簡易水道特別会計

補正額	1,132万円	総額	3億 60万円
(主な内容) 簡易水道事業運営基金積立			

## 平成25年度の主な事業

### 地域おこし協力隊設置事業

都市住民を受入れ、地域おこし活動支援、農林業応援、住民生活支援などに従事。あわせて定住・定着を図る。本年2名分

事業費 735万円

### 妊産婦医療費助成事業

妊産婦が医療機関を受診した際の医療費(保険診療による自己負担額)に対して助成する。

事業費 168万円

### 小水力発電推進事業

既存のダムを活用した小水力発電実施のための概略設計委託料。翌年度以降の売電を目指す。

事業費 797万円

### 買物利便性向上モデル事業

団体が実施する買物弱者対策に対する運営費を補助する。

事業費 288万円

### 秋山郷観光基盤整備事業

見玉、見倉、逆巻、大赤沢地区にある観光施設看板等の新設、増設整備工事を行い、秋山郷観光の振興を図る。

事業費 3,455万円

### 町営住宅建設事業

町所有の旧農政局事務所を解体し、老朽化した美雪町町営住宅8戸分を、新たに2棟(1棟4戸)建設する。

事業費 2億1,157万円

### 住宅改修補助事業

住宅改修や下水道つなぎこみ整備等1件につき、上限10万円の補助を行う。

事業費 1,000万円

### ドクターヘリ基地整備事業

なじもん駐車場の一部を消雪用井戸掘削などの整備をし、ヘリ離着陸場として整備する。

事業費 2,866万円

# 総括質疑

村山道明

## 病院の運営形態の見直しについて

**問** 過大な病床数をもたず、実際に医師、看護師が十分に対応できる形態にする必要がある。また、看護師募集要項に住居手当を掲載したらいかがか。

**町長** 形態については、長期的にみれば、少子高齢化に拍車がかかり患者数が減少していることから、医師や看護師が対応できるような、適正な規模と病院機能の充実が今後の検討課題になると認識している。募集要項に看護師などへの住居手当を検討する。

恩田 稔

## ニューグリーンピア津南貸付料について

**問** ニューグリーンピア津南施設等の貸付料が3,000万円から300万円に減額されている。今後、町民の理解と協力が、より必要になると思われるが、もう少し町民に対して丁寧な説明が必要ではないか。

**町長** できるだけ多くの歳入財源を確保したい方針が大前提である。しかしながら、ニューグリーンピア津南を今後とも永続的に存続させるためには、現状の経営状況の中では、貸付料の減額により、設備の計画的修繕をしてもらうのが肝要と判断した。中長期的には今後

増加が予測される設備の更新、維持修繕費を捻出するためには、(株)津南高原開発のより一層の経営改善が必要と考えられ、町として提言や助言を積極的に行う。

風巻 光明

## 職員給与のラスパイルス指数の妥当性について

**問** 地方公務員の給与が国より高く、今年7月までに7.8%削減してほしい要請があるが、津南町は97である。津南町はどう対応するのか、またラスパイルス指数の妥当性をどう考え執行するのか伺う。

**町長** 100以下の自治体は国と同等の処置をとっていると解釈される。適正な人事管理と人事院勧告に準じ給与改定を行っているので妥当との認識をもっている。

乗原 洋子

## TPP、避けて通れない課題

**問** 町長は、TPP交渉参加断固反対の表明をしているが、施政方針や予算編成の中にはTPPに関するものが盛り込まれていない。政府はあたかも例外品目があるかのように言っているが、一部の大企業の利益だけを「国益」とみなし、津南町のような山間地のくらしを犠牲にしようとしている。町政に大きく影響すると思われるTPPは避けて通れない緊急の課題だ。是非反対行動を起こしていただきたい。

**町長** 政府は論議も確たる説明もない中、参加ありきで大きな懸念と不安を

に住民から出された存続要望は無視し、現にある小規模校の教育を否定するような進め方は賛同できない。小規模校の良さも語り議論すべきだ。

## 賛成 石田タマエ 討論

平成25年度一般会計予算65億7,300万円に賛成する。財源確保が厳しい中、国庫支出金は、対前年比76%増、更に県支出金は17.4%の伸びであり、住民の負担を軽減し、所要額を確保した当局の努力を評価する。

人口対策では、地域おこし協力隊の導入や、妊産婦医療費助成、不妊治療費助成等、少子高齢化への積極的な取組が伺われる。また、衛星携帯電話の配備や、買い物弱者対策等あらゆる地域の生活に配慮がなされている。

エネルギー対策では、津南町の地形を最大限に活用した、小水力発電事業に着手する。

更に鳥獣被害防止対策やドクターヘリの基地整備等の事業への取組は、安心できる地域へと前進する。観光面では、秋山郷観光事業の継続や、苗場山麓ジオパークへの着手は今後の観光振興並びに域内所得の向上につながる。

「強くてどこよりもやさしい町、津南町」を具現化しつつあることが随所に見てとれる予算編成であると評価し、賛成討論とする。

持つ。各団体と連携し、的確に対応してまいりたいが今は時期でない。

滝澤 茂光

## 反里・赤沢線が予算化されないのはなぜか

**問** 農業用道路と、集落をつなぐ道路として、更にマウンテンパーク、竜ヶ窪、ひまわり広場、グリーンピア津南、見玉不動尊、秋山郷など津南の観光拠点を直線的につなぐアクセス道路として大きく貢献するものであり、推進すべきと考えがいかがか。

**町長** 地形的な面や道路に隣接する関係者等により、幅員やルートとの検討が必要であり、費用対効果を考慮した計画で、地元との協議を進めたい。

## 建設課長

地形的な面や、ルートなどさまざまな検討を加え、詳細な設計をもって地元説明に入りたい。

## 経営所得安定対策と強い農業づくりについて

**問** 本年平場で38.684%の減反を強いられている。給与所得者の収入を減らされているのと同じである。積極的に地域間調整等に力を入れられないものか。

**町長** 平成25年度県間調整で、町は320t、59ha申し入れたが、応ずる県がない。魚沼JA全体で福島県等に申し込んであるが、調整見込みは未だ不透明な状況である。現在の当町の転作条件か

## 賛成 草津 進 討論

滑走路の整備が終わり、目標に向かって飛び立つ準備が出来た25年度予算、まずは交流人口の増加、域内所得の増を図るための津南町認証米のブランド化、水の販売による雇用の場の確保、町民が安心して生活できる町づくりが展開されている。

税金が望めない中、ニューグリーンピア津南の貸付料の減額は、町長の英断である。施設の整備の修繕費がかさむ中で理解ができる。2年、3年先の営業努力、歯を食い縛っての誘客宣伝活動に敬意を表する。ニューグリーンピア津南は、町の「代名詞」である。将来においても必要性を強く認識された予算に賛成とする。

## 賛成 桑原 悠 討論

平成の合併の際に、合併を選択せず自律の道を選び、10年を迎えている。今感じることが、自律がこれほどまでに悩み多きことであるかという鈍痛のようなものである。だが、悲観的になるばかりではない。自治体間の生き残りをかけた時代に、平然と時代を渡っていける持続可能な町でありたい。

今後は、若い人や女性にもどんどん好きなことを言ってもらわなければならない。そして面白い人材があららこちらに出れば、本来雇用は後から起こるものである。そのためには何よりも開かれた

ら試算すると1t当り6万5千円、10a当り3万5千円が有利、不利の分岐点となり、それ以上の高額の県間調整費の支払いは、10a1万5千円の所得補償金の受け取り額を下回ることになり、県間調整が必ずしも有利になることはないと考えられる。

藤ノ木 浩子

## 就学援助制度の適用率引き上げを

**問** 就学援助制度の適用率は県下最低の3%である。最も高い市は30%前後となっている。適用対象者がもっていると考えられるが、適用率アップにつながる制度改善をすべきだがいかがか。

**町長** 申請された方は教育委員会審査され、ほとんど認定されている。都市部と比べ3世代家族が多く、祖父母の年金も影響しているのではないかと推察している。就学援助制度は、近隣市町村と比較しても大きな差はなく、制度改善の考えはない。認定基準は生活保護基準であり、この基準引き下げにより認定から除外されることがないように検討する。

大平 謙一

## 環境保全向上対策の全町での取組について

**問** 農地水環境保全向上対策は集落にあってありがたい収入源である。しかし事務的に難しい面をもっている。町が全町的に取り組むことは良いと思うが高齢化集落への支援策は。

町の雰囲気づくりが肝要。津南の中で争うのではなく、「オール津南」で生き残りをかけた時代に臨むのではないかと。一般質問で追及した施設貸付料の減免については、町民に理解を求め、相談しながら進めていた良かったと残念に思う。施設の今後の方向性については、是非そうであっていただきたいと願いながら、本予算がたまねく町民の幸せに寄与することを祈願し、賛成討論とする。

## 賛成 恩田 稔 討論

少子高齢化に歯止めをかけなければならない。このまま減少が続けば、多くの集落が限界集落になってしまう。行政も様々な施策で努力されているが、なかなか成果が見えない。

平成25年度は新規に妊産婦の医療費補助等が計上されている。子育て、教育などはより一層の支援の拡大を図った予算である。

また、若者の働きたい職種や所得の向上なども大きなカギであり、秋山郷の観光基盤整備事業、大地の芸術祭や苗場山麓ジオパーク推進事業など積極的な観光や交流への取組により、雇用の拡大を目指す予算だと考えている。さらに地域おこし協力隊の導入も集落の活性化につながる。

自主財源の乏しいわが町の25年度予算は、国県補助を大いに利用し、新規事業に積極的な取組がみられることから賛成とする。

## 各会計の討論

### 一般会計

#### 反対 藤ノ木 浩子 討論

一般会計予算では、町営住宅2棟の建て替えや住宅リフォーム助成制度が継続となったこと、買物弱者への対応として住民が待ち望んでいる移動販売車も実現の運びとなり喜んでいて。また、小水力発電に取り組む姿勢においても評価したい。

しかし、反対の理由として、一つは看護師確保に対する町長姿勢は、自らが全力を尽くすという姿勢が感じられない。予算措置もない。二つ目に、TPP参加反対の強い意志を持ちながら、農業立町の津南町にとって住民の暮らしに大きく影響するTPPについて、施政方針のなかで一言も触れていない。町長を先頭に、町民をあげて運動するべき時ではないのか。三つ目は小学校の統合問題である。町長、教育長の姿勢は、検討委員会から出された答申通りに進むの一点張りだ。二年前



# 夢と希望の持てる25年度予算編成は

## 町長：農業経営の安定化と後継者の確保に努める

草津 進 議員

町長 かつては4年に一度津南オリエンピックを中津川運動公園で実施してきた時代があった。津南町民の日の制定が、町民のよりどころとなり、交流が世代を超えた集いとなつて、町の発展につながっている。多くの検討課題も含んでおり、慎重かつ十分な検討が必要である。

町長 高齢化、人口の減少が進んでいく中で、伝統文化、芸能、食を若者に引き継いでいくことの大切さから、町民が一堂に会する場作りが大事だと思うがその考えは。

「津南町民の日」制定の考えは

町長 歳入が読めない中で、将来を見据え雇用の創出、人口の増加対策について伺う。  
町長 農産物の付加価値化を推進し、経営の安定化を図り後継者の確保に努める。大地の芸術祭の継続やグリーンツーリズムなどによる農村体験、空家対策で交流人口と定住人口の増加を目指している。

### 25年度予算編成の具体的な中身は

### マウンテンパーク津南の契約満了後の対応は

町長 平成27年3月末で契約満了と聞いているが、その後の対応について町の考えを伺う。

町長 平成27年4月からの対応は、リフトやロッジの老朽化が著しく、継続して使用するには2〜3億円の修繕費用が必要となる。スキー場とクロスカントリーコース管理委託料の効果も検証し、受託者による修繕と独立採算がとれる運営ができるのであれば継続しての委託も検討する。条件を満たす受託者がいない時は、クロスカントリーコースとカガンロッジは継続して使用できるように検討する。



契約満了が間近に迫るマウンテンパーク

# 高齢者世帯に軽量消火器の設置を

## 町長：前向きに検討する

津端 眞一 議員



### 軽量消火器の設置を補助事業で

町長 最近冬の火災事故が頻繁に発生している。特に冬場は逃げ場が限られている。事故原因の多くは、ストーブなどの暖房器具によるものが多いとされている。地域防災組織も整備されてきているが、特に共助が重要と考える。初期消火に効果のある消火器は、町内全世帯の約半数が旧型の重い物である。法改正で使用期限が10年とされた。県町での補助事業として導入に取り組んでいただきたいかがか。

町長 自主防災組織は全78集落のうち、48集落であり、人口割による組織率は84%。住宅火災報知機設置は74.2%となっている。行政でも旧型消火器が多く、取り替え

### 電源立地地域対策交付金について

町長 電源立地地域対策交付金はなぜ減額されたのか。

町長 交付期限が22年度に期限切れとなった。関係市町村の存続要望で、10年間延長されたが、発電量に応じた実績交付となり、交付単価が旧単価1kw/h当り、7.5銭から5.9銭と減額となったためである。



必然性の結晶。  
安全性 信頼性  
環境性 軽さ  
美しさ

アルミ製蓄圧式粉末（ABC）消火器

# 国民健康保険特別会計

反対 藤ノ木浩子 討論

今年も赤字分8,000万円の法定外繰り入れをしたことは評価するが、保険料について昨年が8.95%、今年が5.3%の値上げで、年間一人当たり89,500円となった。

国保加入者の所得平均は、平成20年に240万円だったが、平成23年は179万円と大きく減っているのが現状だ。この負担増が滞納者の増加、短期証、資格証の発行へつながる恐れと危惧する。

年金生活者や失業者も加入する国保は、適切な国庫負担なしには成り立たない制度である。しかし、国は医療制度を改悪し国庫負担を減らし続けている。平成23年は24%までに減っている。今年度も保険料の値上げを理由として、国保の広域化に向け、保険料の急激な上昇を避けるための激変緩和策だとしているが、国庫負担を抑えただけで広域化になつても、財政強化にもサービス向上にもつながらない。住民福祉の守り手として、国保への支援を強めるよう国庫に要求することが、広域化に反対の声を上げることが重要ではないか。

賛成 恩田 稔 討論

国民健康保険特別会計は、明らかに赤字体質を抱えていると言うまで

もない。保険料を下げるために、津南町では、昭和53年より一般会計からの繰入を行ってきた。毎年その金額は増大し、平成25年度も1億5,000万円弱が計上されている。

私は一般会計からの繰入を全て否定するものではないが、無原則の繰入れは、するべきではないと思う。

今後広域化が決定されていることから津南町の保険料は一気に上がると言われている。今から少しづつ保険料を上げて行くことはやむを得ないことであり、一般会計からの繰入も減額になつており、25年度予算に賛成する。

賛成 草津 進 討論

所得の水準が低い中、高齢化が進み、医療費水準が高くなり、医療費が大きく伸び続けている。津南町では、特別会計に国保も含め7会計があり、一般会計からの繰入れには限界がある。

国保運営の不安定性を改善するため、市町村国保の広域化が必要ということ、平成30年を目処に検討されている。低い水準の津南町としては急激な上昇となるため、先を見据え昨年に引き続き保険料のアップである。必要な改善を加え、町民に最小限の負担を求めながら運営に努力している。地域医療の確保や、地域住民の健康増進に貢献している国保会計に賛成とする。

賛成 風巻 光明 討論

賛成の主な理由は保険料の改正をふ

まえ次の通りである。  
1. 健康保険制度には国民健康保険のほか、政府管掌の健康保険、健保組合、共済組合等があるが、すべての保険制度において、健全な運営のため保険料の見直しがされている。

国民皆保険制度に対し、徴収料の平等性からやむを得ないことと考える。

2. 国保会計の総費用12億円のうち、負担額は20%弱である。高齢者の医療費が増加している中、国保加入者どうしが助け合い、協力することは保険加入者の義務である。

3. 一般会計から国保会計への繰り出しは1億5,000万円である。これを制限なく増額することは、社会保険に加入している町民の税を、国保加入者の人に多く使われることになり、特別会計の主旨から望ましいことではない。

以上の3点と予算内容については、歳入、歳出とも適切に編成されていることにより、25年度の国民健康保険特別会計予算を賛成とする。

# 介護保険特別会計

反対 栗原 洋子 討論

昨年4月の法改正により利用料の引き上げ、介護保険料も約5千円に値上げ、今後も更に保険料は上がる見通しで大きな負担増だ。法改正により、軽

助の保険ははずしてサービス低下が懸念されること、更に介護サービスケアプランの有料化など利用者にとって負担は大きい。生活援助は無くしてはならない支援であり、削るべきではない。必要な時に安心して利用できる制度に改善することを国に強く求めたい。以上をふまえ反対とする。

賛成 石田 タマエ 討論

当町は、平成12年度介護保険制度施行時よりサービスを効果的に整備し、住み続けられる町づくりを進めてきた。介護保険財政の維持にはサービス量と介護保険料とのバランスを保つことが重要である。本町の介護保険特別会計においては、平成24年度に介護保険料を月額標準5,000円に値上げをしたにも拘わらず、一般会計からの繰入金金、2億1,691万5千円であった。更に平成25年度は2億2,744万8千円の繰り入れと、一般会計の負担は5%増額を余儀なくされる。

このことは、住民の介護保険料負担を押さえ、一般会計から可能な限り繰り入れることで、高齢者サービスの充実を図って行こうとするものである。次回平成27年度からの第6期介護保険計画策定時に大幅な値上げとならないためには、特に介護予防事業に真剣に取り組まなければならない。このことをお願いして、本予算に賛成の討論とする。

# 人口問題は町の最大の課題

町長：住みやすい町づくりに全力をそそぐ



大平 謙一 議員

**問** 津南町は少子高齢化が最大の課題となっている。問題の実態を町長が認識して対応することが重要と考える。町長が議長となつて有識者や各組織などから人選した特別なチーム、人口問題協議会を立ち上げ、問題に対応してはどうか。

**町長** 町は人口問題を最重要課題と位置付け、各課それぞれ事業を展開している。産業分野では、農業の所得向上策や基盤整備、後継者支援、地元企業振興策。商工観光では交流人口の拡大。保健福祉の分野では子育て支援、保育料の軽減、未満児保育の拡大、乳幼児や子供医療費の無料化、各種検診、予防の実施。建設分野では道路や上下水道などライフライン整備。町民の命の安心安全を確保する町立病院の運営。これらを総合的に取り組んでいる。新潟県は人口問題対策会議を立ち上げ、部局横断的に課題を検討することで体制強化や幅広い視点、外部有識者を加え対策を講じている。



今年の芦ヶ崎小入学式

**問** 町の取り組みも分かるが問題は解決していない。各課でやってもチーム力は強化しない。目的を持った組織にすべきと思うがいかがか。

**町長** 県と町では規模が全く違う。現在町の対策の中で私自身がリーダーになって全課を掌握することについては特別な会議を設けなくても、毎月の課長会議等で目的は達成できるものと考えている。

**問** 対策が総合的に噛み合っただけで達成すると思えるが、町長 県の結果をみて参考にしていきたい。

# 津南町の観光振興策について問う

町長：秋山郷の観光地づくりを重点に取り組む



風巻 光明 議員

**問** 観光立町の実現は我が町の経済発展のためには重要な課題である。活力のある町にしていくためにはこの観光ビジネスを確立していくことが不可欠だが、津南町の誘客数は県内の他の市町村に比べ少ない。そこで、入れ込み数の目標と観光資源のターゲットは、どこに定め活動していくのか見解を伺う。

**町長** 町の振興計画では年間80万人(昨年度比2倍)を目標としていたが、達成は難しい。行政の当面のターゲットは秋山郷観光の整備、ジオパークの認定を進め、リピーターの訪れる施策と町の知名度を上げることに努力する。

**新規顧客の開拓と観光の経済効果は**

**問** 方面別観光客の入れ込み数は県内と関東圏で90%を占める。顧客拡大のためには近畿・九州からの誘客も必要だが、今後のマーケティングの拡大施策と、町の観光における経済効果及び税収効果をどのように評価しているのか伺う。



大地がつくる芸術を観光スポットに

**町長** 北陸新幹線の開通を迎え関西方面のキャンペーンも行っている。観光の経済効果は、農産物、菓子、酒、運輸分野など幅広く、究極の6次産業だ。個人所得による税収効果も高いと考える。

**秋山郷観光の課題と今後の取組は**

**問** 秋山郷は町の最も重要なスポットだが、道路渋滞などインフラの整備が必要である。また顧客満足度の向上策について問う。

**町長** 渋滞対策としては、見玉での専用観光バスの乗り換えや女子トイレの新設について検討する。またおもてなしの重要性から案内人の確保と養成を行う。

# 看護師不足は非常事態!!

町長：非常事態、全くそのとおりである



栗原 洋子 議員

**問** 看護師不足は深刻であり、緊急を要することだ。県外にも積極的に足を運び募集活動をすべきである。そのためには働きがいのある職場づくりが大切と思う。独身寮や保育室も必要であり、ひまわり保育園と連携しながら、若いスタッフの意見も必要だ。「病院だより」を発行し、住民にも院内の声や状況を発信してほしい。魅力ある病院をスタッフ、住民と一緒に作ることに、自信をもって「ぜひうちの病院に来てほしい」と言えるのではないか。また、奨学金制度利用者を増やす努力をすべきだと思うがいかがか。

**町長** 非常事態、全くそのとおり。県や民間主催の就職ガイダンスに参加予定であり、県外イベント参加も検討したい。

また、ひまわり保育園との連携についても検討したい。「病院だより」は良いことだ。奨学金月12万円の支給は全国的にもトップクラスである。看護師確保のため事務長から



ありがとうございます看護師さん

**問** 看護師不足は深刻であり、緊急を要することだ。県外にも積極的に足を運び募集活動をすべきである。そのためには働きがいのある職場づくりが大切と思う。独身寮や保育室も必要であり、ひまわり保育園と連携しながら、若いスタッフの意見も必要だ。「病院だより」を発行し、住民にも院内の声や状況を発信してほしい。魅力ある病院をスタッフ、住民と一緒に作ることに、自信をもって「ぜひうちの病院に来てほしい」と言えるのではないか。また、奨学金制度利用者を増やす努力をすべきだと思うがいかがか。

**町長** 非常事態、全くそのとおりである。県や民間主催の就職ガイダンスに参加予定であり、県外イベント参加も検討したい。

また、ひまわり保育園との連携についても検討したい。「病院だより」は良いことだ。奨学金月12万円の支給は全国的にもトップクラスである。看護師確保のため事務長から

# 津南町認証米販売は総力戦で

町長：全力で取り組む



滝澤 茂光 議員

**問** 販売戦略の一環としてスタートした津南町認証米制度であるが、畦畔の除草に対する取組が集荷業者により異なるなど疑問を抱いたまま2年経過した。3年目にし、ようやく「田植後の栽培期間中は畦畔に除草剤は一切使用しない」との申し合わせがなされるなど、定着するに更なる時間を要するものと考え。直接聞いた話ではないが、町長は事業の継続に否定的であると聞いているがいかがか。

**町長** その様な発言はしていないし、聞いてもいない。

**問** 津南町認証米制度は津南町で出荷される米8万5千俵全てを売りさばくための大きな戦略と受け止めている。津南町認証米が生産者にとっても転作面積が15%緩和されるなどにより、その分稲の作付け面積も増加させる訳であり大きなメリットである。

定着には時間も必要だが、3年ではまだ不十分であれば、さらに補助事業の継続をすると受け止めてよろしいか。

3年目で同一基準化を



**町長** 勿論そのとおりである。

**問** 販売面において営業努力を高めるための勉強会として、農業委員会、販売事業者、生産者、行政が一丸となるよう組織し、行政はリーダーとして強力に事業を推進すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

**町長** しつかりと受け止めさせていただき、今後もトップセールスをしていく。

見玉の水の販売をおし、大手コンビニとも連携し、津南米、更には津南野菜の販売強化を図っていく。



# グリーンピア貸付料引き下げを問う

町長：町の力を高めるには必要だ

桑原 悠 議員

**町長** 昨年9月議会にて、グリーンピア施設貸付料後期分1,500万円の減額補正を質した。以来半年間々と考え、やむにやまれぬ思いだ。新年度予算案では2,700万円減額している。町民にどう説明できようか。

## グリーンピア施設貸付料減を問う

**問** 昨年3月議会において、当局はこの問題に介入するかどうか、法的整備を検討する必要があると答弁した。将来的に空き家が増加する見込みの中、町民が色々骨を折りに、行政が条例化も含め方向性を明らかにしてほしいかがか。

**町長** 行政の強制的な介入以前に、最終的な責任は所有者が負う。その経費も所有者が負担すべき。現在それを所有者に理解してもらうために苦勞している状態だ。空き家対策は全国的な課題であり、国県の動向を注視しながら条例化を検討していく。



グリーンピアは有用な観光資源だが

**問** 昨年度予算案では、グリーンピア施設貸付料後期分1,500万円の減額補正を質した。以来半年間々と考え、やむにやまれぬ思いだ。新年度予算案では2,700万円減額している。町民にどう説明できようか。

**町長** 町の力を高めるには不可欠である。解釈のあり方について検討し直したい。



# 今後の福祉政策をどう進めるか

町長：相談しやすい環境づくりに努める

石田タマエ 議員



スタッフ不足が深刻な津南病院

**問** 障害認定者は増加傾向にあるが、現在は圏域での障害サービスが不足している。また、十日町の施設を利用するためには移動手段が必要だ。今後の町の対応を伺う。

## 十日町津南圏域で障害者の施設が不足している

**町長** 障害サービス施設は全国的に不足している。現在、十日町津南地域連絡調整会議等で調整しているが、今後更に事業展開を希望する事業所には積極的に協力支援をしていく。移動手段については、現在実施している教育施設への送迎との併用等を検討していく。

**問** 障害サービスを利用していない方々への支援についてはいかがか。

## 生活に不安が無い高齢者の住まいを

**町長** 必要性は認識している。現状では安否確認や情報収集に力を入れている。支え合う環境づくりが今後一層必要になってくる。

## 津南病院で院内保育の実施を

**町長** 院内に更に施設を設置する必要があるのか今後検討していく。

## ひきこもりやニートの就労支援について

**町長** 具体的な実人数を把握することは困難。相談等があれば何らかの支援ができる体制はある。相談しやすい環境づくりに努める。

# 東京電力福島事故の損害賠償請求について

町長：影響があり各部署で対応している

中山 弘 議員

**問** 平成27年、魚沼基幹病院が新設され、新十日町病院が部分開院される。津南病院では医師、看護師不足であ

## 看護師不足解消を

**町長** 自民、民主両党などの反対多数で条例案を否決された。知事は「原子力政策は国策だという理由で否決された」と陳べた。住民投票は国の安全保障やエネルギー対策など国の根幹に関わる判断にはそぐわなく、県議会の判断は現時点では妥当である。

**問** 放射能測定器購入や土壤検査、それらに携わる人件費の請求対策を伺う。

## 損害賠償費用は

**町長** 請求受付の対象項目が指定されており、津南町衛生施設組合の放射能検査費用は23年度分37万8千円、津南町分の上下水道検査費用は請求し入金されている。24年度では41万円が見込まれる。

# 住民が選択できる正確な情報提供を

教育長：地域の総意が最終判断

藤ノ木浩子 議員



**問** 全国には3,000も小規模校がある

## 全国には3,000も小規模校がある

**問** 今、外丸地区、中津地区からは学校存続と統合の両方の要望が出ている。教育長は存続要望は重く受け止めているが、答申どおり学校統合を進めると答弁してきた。津南町の小規模校を否定しているように感じる。

**教育長** 答申を尊重し、より良い教育環境の整備を図っていくことが責務と考えている。両地区の団体や保育園父母の会、小学校PTAとの懇談を開催し、理解を求めてきた。集落説明会も開催し、十分議論していきたい。

## 豊かな個性む小規模校



豊かな個性む小規模校

# 新十日町病院概要

もうすぐ着工!

## 施設計画・階構成(案)

7階			レストラン			
6階	病棟		緩和ケア病棟			
5階	リハビリ		回復期リハ病棟		病棟	
4階	病棟					
3階	手術		分娩		病棟	
2階	外来		検査・内視鏡		栄養	
1階	エントランス	医事薬剤	救急外来 救急WS	CT/MRI	放射線	講堂
地下1階	※地下駐車場も検討					

※「救急WS」=「救急ワークステーション」の略  
I期 ← → II期



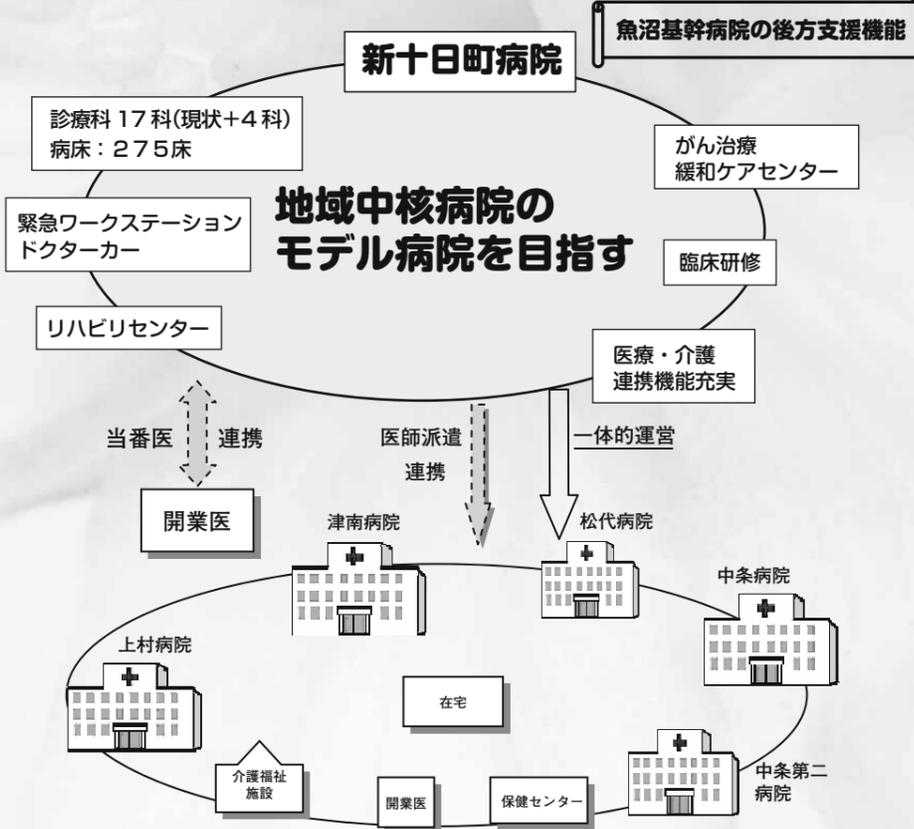
## 今後の医療体制

3次医療

2次医療



## 地域中核病院のモデル病院を目指す



3月7日、新十日町病院の説明会が津南町商工会で行われました。平成25年着工、平成27年外来棟完成。平成30年新十日町病院完成予定。その概要をお知らせします。

## 町民へ実効性のある避難計画を

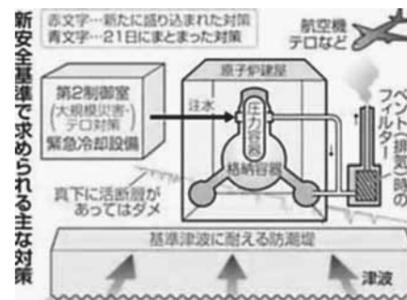
町長:できるだけ早く策定する。ヨウ素剤は確保済み

村山 道明 議員



**問** 町防災計画「原子力災害対策編」を、6月議会で至急整備されたいと申し上げた。それに対し、「県の取組を注視したい」と答弁された。その後の見直しを含めた現在の進捗状況を伺う。

**町長** 出来るだけ早く策定し、町民に示したい。一方で、町単独で理解を深めないまま定めるものではないと考えている。現在、国、県における指摘は30キロ圏内である。歩調を合わせながら、町民にとって一番安心安全な計画を策定したいと考えている。町単独でできることで、ヨウ素剤の確保などすでに取り組んでいる。



防災計画策定は急ぐべき

北陸新幹線開業イベントの企画募集を

**問** 北陸新幹線開業に向けて、機運を盛り上げるためにも、夢のあるイベント企画を募集する考えがないか伺う。

**町長** 開業日、開業時期に合わせた特別なイベントは考えていない。飯山駅を經由して町への誘客取組は強化して行かなければならないと考えている。第6回大地の芸術祭や雪祭り、夏祭り、ひまわり広場などのイベントには、開業に合わせた企画を盛り込みたいと考えている。

## 人事



旧事務局長  
磯部 義栄

お世話になりました

議会事務局へ奉職して、あつと言う間の3年間で、異動後早々に4名の議員補欠選挙があり、続いて小林町政から上村町政へのバトンタッチ。翌年は東日本大震災(長野県北部地震)、その秋には4年に一度の議員改選があり、4名の新しい議員、中でも25歳の議員が誕生したことは強く記憶に残ることとなりました。また、インターネットによる議会中継を開始しました。議会も活性化のために真剣に取り組んでいます。町民の皆様から、より関心をもつていただける議会になるよう期待しています。議員各位の更なるご活躍を祈念し、退職の挨拶いたします。ありがとうございました。

## 住民・議会懇談会開催時期変更のお知らせ

今年の「住民・議会懇談会」は秋に行ないます

住民の皆様と議員との懇談会につきまして、昨年までは、新年度予算の確定した4月下旬から5月上旬に開催しておりましたが、今年からは10月下旬に変更となります。

変更の主な理由は、春の開催では農繁期になってしまうことや、次年度の予算編成が11月から開始されるため、その前に皆様のご意見をいただき予算に反映していくためです。ご理解をお願いいたします。



新事務局長  
丸山 吉松

よろしく願います

議会事務局長という重責を担うこととなりました。どうぞよろしく願いました。上げます。

町づくりにおいては、住民の皆様が主人公であることはもちろんですが、住民、行政、そして議会がともに力を合わせ進めることが重要であると思います。

議会においてより活発に議論が展開し、政策提言がなされますよう微力ではありますが、円滑な議会運営に一所懸命努めさせていただきます。



「津南町農業委員会とJA津南町との懇談会」

▼とき 1月24日  
▼場所 役場3階大会議室  
▼内容 農業委員会から25年度の町への建議要望書の説明がありました。政府のTPPへの取組に対する懸念、苗場山麓事業の償還金未納問題など、町や国県に対し改善策の要望がありました。  
JA津南町からは、24年度の決算見通しと米販売の実態についての説明があり、安くてうまい米でないとい



威力を発揮するロータリー除雪車

売れない現実が示されました。産建委員会からは、平成25年度建議要望農業部門15項目、それに対する町の回答を説明しました。また、両機関への協力要請なども行い、最後に「山形県産つや姫」(特A)と「津南認証米」の試食会を行いました。

道路除雪状況調査

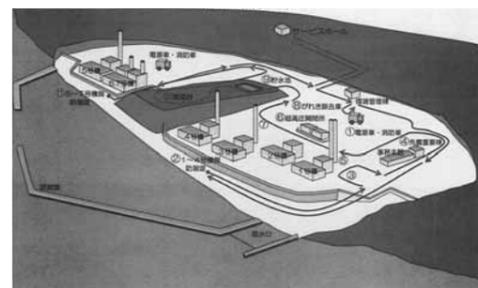
▼とき 2月22日  
▼場所 町内各所  
▼内容 町道の除雪状況調査を行いました。主要な道路は除雪隊の努力により、良好な状態が保たれていました。今後、集落内の細い道の除雪が課題だと認識しました。

原子力発電所視察

▼とき 3月26日  
▼場所 東京電力柏崎・刈羽原子力発電所  
柏崎刈羽原発の全7基が停止し1年が経過しました。敷地は柏崎市と刈羽村にまたがっており、現在東電社員1,200人と協力業者4,000人が働いています。不審者やテロ対策のため、何重にもなる警備が行われていました。

⑤燃料損傷対策 水素爆発や放射能漏れ防止対策のため、トップベントを設置済み。またフィルターベントも設置予定。

色々な安全対策が着々と行われていますが、原子力規制委員会で大規模な安全対策の見直し作業が行われており、特に発電所直下の活断層の問題がクリアになっておらず、現在のところ、当面再稼働の可能性はなく、再稼働そのものが極めて困難な状況となっています。



①地震対策 耐震強度は震度7、揺れは全号基1,000ガルの想定される最大震度に耐えられる。  
②津波対策 15mの防潮堤を建設中で今年6月に完成予定。  
③電源と除熱機能喪失対策 ガスタービン発電機2セツトと電源車23台を配車済み、また消防車8台と海水ポンプ予備電動機15台配置し、貯水池2万トン造成済み。  
④ガレキ撤去対策 地震時による道路寸断や通路確保のため、ホイールローダー4台とショベルカー3台を用意し訓練場所も確保している。

供や、町の案内やガイドができるような人材の育成を進めるため、学校教育班や文化財班と連携を図りながら、郷土を深く知り郷土に愛着をもてる人づくりを進めたい。

町立津南病院との懇談会

▼とき 2月23日  
▼会場 病院会議室  
▼内容 津南病院の運営幹部の方々と懇談会を行いました。平成27年度に魚沼基幹病院と、新十日町病院の一部開業に伴い、津南病院の今後のあり方については、両病院との医療連携が重要となりま

などが挙げられました。その上で、今後町民の皆さんに以下のことについて協力していただきたいと思っています。  
①外来受診の際、介護が必要な方(耳が遠い・車いす利用等)には付き添って欲しい。  
②町で医学生への奨学金制度があるので、是非活用していただきたい。



「津南町教育委員会、社会教育委員会との懇談会」

▼とき 1月29日  
▼会場 役場3階大会議室  
▼内容 町内小中学校教育の現状と課題・対応、生涯学習関係について懇談会を行い、様々な説明を受けました。  
①いじめの早期発見と対策について 担任・部活の先生・教育委員会 訪問相談員等に申告し相談する体制づくりを進めている。  
②2学期制導入による現状について 平成21年度より実施し、教職員



社会教育委員、妙高大会に出席

は児童生徒に向き合う時間が確保できた。年間を通じ長期的な視野で学習活動を展開できる。  
③学校評価、人事評価制度について 年に一回3月末に実施し一年間の学校の取組を振り返り、自校の良さや特色、児童生徒の成長を確認し一層の充実に向けて改善の方向を明確にしていく。  
④郷土愛を育むことは、家庭や地域、国を愛することにつながると考えられるがどのように進めていくのか。

生涯学習のサイドからも町をより深く理解する学習機会の提

これらを、推進するための現状課題として、  
①現在常勤医師や看護師が少なく、医療従事者の負担が大きい。  
②外来受診の際、治療以外で看護師の手を要する人が多い。  
③今後共医師や看護師を確保できなければ、運営に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

**医学生 奨学金**

- 医師 月額 10万円
- 看護師 (光善会) 7万円
- 合計月額 12万円
- 薬剤師 理学療法士 など 月額 5万円

シリーズ・町民の声 私もひと言



元気いっぱい津南町

中深見 高橋 由美子さん

昨年の「大地の芸術祭」では多くの皆様に大地の市で大変お世話になりました。地味に中津地区を宣伝していたわりに、古民具へお客様が大変興味を示し、「ふれあい工房」さんの、きゅうり1本漬けを食べながら、「すっぽん」に履き替えて満面の笑顔で写真をとる姿…はずむ会話…。

私も県外から嫁いで15年が経ちました。まだ微力ですが、これからも大好きな元気いっぱいの津南町の魅力を、自分なりに発信できたいと思っています。

あと気がついたことがあります。観光客の皆さんは、ひまわり畑や秋山郷、温泉やスキーなどの目的でいらっしゃる訳ですが、初めて訪れる方は、家の屋根の傾斜や、信号が縦、道路の消雪パイプなど津南の日常生活に感心がありました。議会や雪祭りのインターネット中継ですが、もっと身近にテレビで子供やお年寄り、観光客が楽しめる「津南チャンネル」があったらとても嬉しいと思います。



雑感

大割野 大崎 寿さん(大崎ゼミナール)

この仕事を始めて早や30年になる。その間に出会った生徒の数は、予想をはるかに超えている。人は出会いによってその後の人生が大きく変化することもある。その中で英語に興味をもち、さらに努力して留学経験を活かしている人、海外で仕事をしている人、都会で活躍している人、そして津南で頑張っている人も大勢いる。応援をしたい。

私の人生で、とても大きなウェイトをしめているのは友人である。お互いに多大な影響をうけて今に至る。塾での勉強中に脱線するときもあるが、友人についての話題が多い。

事業の失敗にもめげずに、今も頑張っている友がいる。彼からは元気をもらい、私もまた頑張れる。一方その才能を活かしてグローバルに活躍している友がいる。豪雪見舞いと東京に招待してくれた。なんの遠慮もせず一日外で棒を振りまわす。これが私の最大のストレス解消である。神田で安酒を飲む友もいる。これはこれで又楽しからずや。

編集後記

今年の冬は積雪も2m前後で、晴れ間も多く小雪かなと思いましたが、2月の末にはやはり津南らしい3m越えとなつて大雪でした。

3月議会まで25年度の予算は、昨年度予算比増となり、賛成多数で可決されました。

ようやく雪どけの季節となり、「ふきのとう」などの春の味覚を味わえる季節となりました。また、新しい制服を着た新入生のフレッシュな姿が目立ち、私達議会も初心を忘れずに新鮮な気持ちで取り組みたいと思います。

3月中旬に信濃川への鮭の稚魚の放流がありました。3、4年後にはまた大きくなつて津南へ戻つてくると思います。卒業した子供達も再び良き津南町へUターンしていただくことを願っております。



サケの稚魚の放流